

あなたとつなぐ 甲賀 市議会だより

KOKA city assembly report 令和7年(2025)08.01 vol.83

Contents

- 02 第2次甲賀市小中学校再編計画で意見交換会
- 04 議会基本条例の一部改正
- 05 6月定例会議案審議
- 09 一般質問／市の考えを問う
- 16 議会活動レポート
- 22 名神名阪連絡道路総会・道の駅あいの土山
オープン・立候補予定者説明会
- 23 利川市訪問・R6年度視察受入実績・
ミシガン州視察団来訪

PHOTO 水口城跡御成橋に勢ぞろいした
水口高校のみなさん



ント（意見募集）8月1日から8月31日まで

委員会がよびかけて さんとの意見交換会をひらく



小中学校再編計画（基本計画）素案についてパブリック・コメントが
は8月1日（金）から8月31日（日）までの31日間で、計画は市役所及び各
窓口で閲覧できるとともに、市ホームページでもご覧いただけます。
定の用紙で意見を提出することができますので是非ご覧ください。

甲賀市教育委員会では第2次甲賀市小中学校再編計画を策定しています。厚生文教常任委員会では計画案（たたき台）で変化の大きい信楽地域において保護者や地域の意見を聞くため6月29日に意見交換会を開催しました。教育委員会では、平成27年に甲賀市幼保・小中学校再編計画（基本計画）を策定、その後、各地域で再編検討協議会が設置され、再編について協議されました。令和3年度、4年度

の2年間にわたり小中学校教育のあり方審議会が、昨年度は学校再編審議会が開催され、それぞれ答申が出されました。市ではそれらの意見を踏まえ第2次甲賀市小中学校再編計画（たたき台）を作成し、きわめて小規模の小中学校を中心に保護者との意見交換会が行われました。また、今回委員会主催の意見交換会を出た意見は素案に活かされるよう、議長を通じて教育委員会に伝えました。



いじめがあつて解決しないので小規模校を選んだ。大規模校になった時に対応できるのか心配。

多人数では馴染めない子や置いていかれる子もいる。合併が必要なら少人数教育を実現してほしい。

オペレッタがやりたいからと、子どもが自ら選んで多羅尾小へ。地域が一体となっていて素晴らしい。経験豊富で温かい学校なので残してほしい。

この10年間で信楽町全体の子どもの数は急減している。教育環境の整備にスピード感をもって取り組んでほしい。

新しい学校が進む視点が大事。5校で新しい学校をつくるという発想で、地域の活性化として再編後の跡地活用、廃校活用を早期に話し合っていかなければならない。

再編は避けて通れない。地域がどのようにとらえるかも大切な視点。「新しくらき小学校」が全く新しい学校としてスタートするなら受け入れ易い。

第2次 甲賀市小中学校 再編計画(素案)

パブリック・コメ

第2次甲賀市小中学校再編計画(素案)

(1) 水口中学校区

児童数の減少がみられる小学校もありますが、概ね複数の学級編制が可能であることから、小学校、中学校ともに現状の学校運営を維持しつつ、小中一貫教育の推進に向けた取り組みを進めます。

(2) 城山中学校区

児童数の減少がみられる小学校もありますが、概ね複数の学級編制が可能であることから、小学校、中学校ともに現状の学校運営を維持しつつ、小中一貫教育の推進に向けた取り組みを進めます。

(3) 土山中学校区

土山中学校と2つの小学校においては、小中一貫教育の推進ならびに、学校運営を維持する観点から、既存の中学校校舎を活用した小中一貫校の設置による学校再編をめざします。その際には、今後の児童生徒数の推移を注視しながら、中間見直しにおいて今後の取り組み内容を定めます。

(4) 甲賀中学校区

甲賀中学校と3つの小学校においては、小中一貫教育の推進ならびに、学校運営を維持する観点から、既存の中学校校舎を活用した小中一貫校の設置による学校再編をめざします。その際には、今後の児童生徒数の推移を注視しながら、中間見直しにおいて今後の取り組み内容を定めます。

(5) 甲南中学校区

- 甲南中学校は、複数の学級編制が可能であることから、現状の学校運営を維持しつつ、小中一貫教育の推進に向けた取り組みを進めます。
- 甲南第一小学校、希望ヶ丘小学校においては、児童数が減少傾向にあるものの、複数の学級編制が可能であることから、現状の学校運営を維持しつつ、小中一貫教育の推進に向けた取り組みを進めます。
- 甲南第三小学校は、きわめて小規模の学校であることから、児童が切磋琢磨し合える一定の人数の集団を確保するため、近隣の甲南中部小学校との再編を進めます。甲南中部小学校は、長寿命化計画に基づく校舎の整備を進めます。甲南第二小学校については、中間見直しにおいて、児童数の推移や甲南中部小学校の整備工事を見据え、段階的な再編協議を進めます。

(6) 信楽中学校区

- 信楽中学校は、複数の学級編制が可能であることから、現状の学校運営を維持しつつ、再編した小学校との小中一貫教育を実施します。
- 信楽小学校の改築工事の完了時期に合わせ、5つの小学校を1つに再編し、小中一貫教育の効果的な実施環境を整えます。また、学校再編のモデル校として位置づけ、特色ある教育プログラムを展開します。

厚生文教常任 信楽の皆



市では第2次甲賀市
実施されます。期間
地域市民センターの
意見のある方は所

きわめて小規模の学校を最優先 小中一貫教育を推進



スクールバスと放課後児童クラブの確保をしてほしい。



信楽小学校周辺の神興道が狭い。市道の整備も計画に入れてほしい。

全議員がワークショップで練り上げ



議会基本条例の一部改正

「甲賀市議会基本条例」主な改正点

前文

「議員及び議会活動」→「議会及び議員」

第3条

(5)「市民の多様な参加」を→「市民の多様な参加機会」を

第8条

「議会審議において、二代表制のもと、議員と市長等は、緊張感の保持に努めなければならない。」→「議会審議において、二代表制のもと、議会と市長等は、緊張感の保持に努めなければならない。」

第12条

「議会は、議員による討論の場であることを認識し、議員相互間の討議を中心とした運営に努めるものとする」→「議会は、議員相互間の討議を中心とした運営に努めるものとする」

2.「議員相互間において十分な討論、議論を尽くして合意形成に努めるものとする」→「議員相互間において十分な討議を尽くして合意形成に努めるものとする」

第18条

「議会広報活動」→「広報広聴活動」

第22条

2.「制定しないよう努めるものとする」
→「制定してはならない」

6月議会では、「甲賀市議会基本条例の一部改正」を全会一致で可決しました。議会基本条例は、平成25年9月議会において全会一致で可決、制定したものです。その後令和2年9月議会の一部見直しを行いました。が、全条項について検証して見直したのは初めて。

議会改革推進特別委員会での議論をふまえて、日本生産性本部や大

正大学地域創生学部の江藤俊昭教授の「議会基本条例のねらいと今後の課題」と題しての講演などをもとに、全議員によるワークショップを繰り返して行い、見直し案を練ってきたものです。条例の一部改正のポイントは左記のとおりです。

条例の「逐条解説」についてもこの機会に見直し、拡充しました。

災害時や感染症が蔓延したときにも議会を有効に稼働させるように

「オンライン会議」を可能にする要綱制定

6月議会では「甲賀市議会委員会条例」の一部も改正しました。改正のポイントは、大規模な災害等の発生、または重大な感染症の蔓延により、議員が「議会の招集場所」に集まることが困難と認めるときは、いわゆる「オンライン会議」を可能とするものです。議会には、業務継続計画（BCP）がありますが、これと連動して対応することとしています。

議案審議

こんな
議案を審議し
決めました

令和7年第3回定例会は6月4日に開会し、6月27日までの24日間の日程で開催されました。執行部から提出された議案は報告案件4件を含め21件で、その後追加議案4件が提出されました。また、意見書についても8件が提出されました。

6月4日
議案上程



6月12日
議案質疑



6月27日
討論採決



専決処分	2件
補正予算	4件
条例改正	3件
人事	1件
計画変更・廃止	7件
市道廃止・認定	2件
契約締結	2件
意見書	8件

今号ではこの中から6つをpickupします。結果の詳細は8頁をご覧ください。

PICK
UP

1

議案第47号 甲賀市税条例の一部を改正する条例の制定について

地方税法及び地方税法等の一部を改正する法律の一部を改正する法律(令和7年法律第7号)が令和7年3月31日に公布されたことに伴い、甲賀市税条例の一部を改正するもの。

質疑応答

Q 公示送達の活用について、インターネット活用で今後どのように変わるのか。

A 現状は市の掲示板において掲示のみであるが、インターネットを用いることによって広く閲覧できる。

議案第48号 甲賀市和太鼓音楽活動交流館条例の一部を改正する条例の制定について

甲賀市和太鼓音楽活動交流館の損害の賠償を判断する者を改めるため、条例の一部を改正するもの。

質疑応答

Q 平成18年に制定された条例だが経緯についてどのように把握されているのか。

A 当時他の市町の条例を参考として制定されたものと推察している。本市の他類似条例との整合性を図り今回改めた。

議案第61号 甲賀市の議会議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について

印刷費や資材費の高騰などを反映して、選挙運動にかかるビラ・ポスターの公費負担額を現実的な水準に引き上げるもの。

質疑応答

Q 公職選挙法施行令の一部改正に伴い変更することだが、市単独で他の改正をする予定はあるのか。

A 市の条例は国の基準に準じているので、改正する予定はない。

3件については全員賛成で可決しました。

全員賛成で可決しました。

【主な内容】

- 貴生川駅周辺整備事業における公民連携事業支援業務
2,009万1千円
- 公共ライドシェアの予約・運行管理システム導入
2,420万円
- 温水プールの暖房設備更新
1,500万円
- 民間事業者への放課後児童クラブ開設準備補助
1,260万円

本会議での質疑

Q 貴生川駅周辺整備事業における公民連携事業支援業務の詳細について伺う。

A 具体的には、デザイン、都市経営分析、建築設計、ブランディング、景観などについて専門的な知見で民間投資を誘引し、集客を見込める計画にするため伴走支援いただく。

Q 自家用有償旅客運送事業についてシステム導入の予算、システム予算の内容は。

A システムの導入、今年度の使用料含め、2地域で2,400万円を想定しており、新たに甲賀地域での実証運行を予定している。

委員会での質疑

Q 甲賀B & G海洋センターの温水プールの暖房設備改修の台数と考え方は。

A 全部で16台あり、今回は2台更新し、今後計画的に修繕を行う。

全員賛成で可決しました。

《追加議案》

エネルギー・食料品等の物価高騰の影響を受けながらも安定した福祉サービスや地域医療の提供に尽力いただく福祉施設や医療機関等への支援に要する経費について、所要の補正が行われます。

- エネルギー・食料品価格等物価高騰対策支援事業
4,026万9千円

質疑応答

Q 今回の補正予算により、ガソリン代の高騰等で支援が必要なケアマネジャーにも支援金が行き届くのか。

A ケアマネジャーの業務は車の移動が多いので、ガソリン代等に充てていただくことは可能である。ただ、今回の事業は事業者の安定経営につなげていただくことが本来の趣旨であるため、あくまでも支援金の支給対象は事業者とする。

Q 支援金の設定単価の積算根拠は。

A 急な国からの通達であったため、令和5年5月の臨時会の補正予算での積算を参考に算出した。

PICK UP 4

議案第52号 ～第57号

土地改良事業計画の変更につき議決を求めることについて
(甲賀2地区農村集落基盤再編・整備事業)

議案第58号

土地改良事業計画の廃止につき議決を求めることについて

7件については全員賛成で可決しました。

甲賀2地区農村集落基盤再編・整備事業は、食料供給基盤として優良農地の確保に努めながら農業用排水施設等の生産基盤の整備により効率的な土地利用と生産性の向上を図るもので、水口、甲南、甲賀地域が甲賀2地区として対象となっている。

52号：甲賀町神工区(用水路)

56号：甲南町下野川工区(用水路)

53号：甲賀町田堵野工区(用水路)

57号：甲南町上野川工区(用水路)

54号：甲南町市之瀬工区(用水路)

58号：甲南町上野川工区(用水路)は廃止

55号：甲南町塩野工区(用水路)

PICK UP 5

議案第60号

市道路線の認定につき議決を求めることについて

全員賛成で可決しました。

- 下川敷・神之木線(甲賀町小佐治)
- 相模・小谷1号線(甲賀町相模)
- 中学校前団地3号線(甲賀町相模・大原中)

質疑応答

Q 中学校前団地3号線について、新たに認定する前に現路線を廃止するのはなぜか。

A 終点が変わっており、延びた部分を含めて改めて認定するものとなる。

PICK UP 6

議案第63号・第64号

契約の締結につき議決を求めることについて

2件については全員賛成で可決しました。

●63号

信楽小学校改築(1期)工事 (建築主体工事)

契約相手：株式会社三東工業社

契約金額：20億2,950万円

工 期：令和7年6月30日～
令和9年3月25日

●64号

信楽小学校改築(1期)工事 (機械設備工事)

契約相手：甲賀電気設備株式会社

契約金額：3億3,544万5千円

工 期：令和7年6月30日～
令和9年3月25日

質疑応答

Q 機械設備工事は3回の入札が行われているが、入札の経過について伺う。

A 1回目は建築主体工事と同じ5月28日、2回目が5月30日、3回目が6月3日に行われた。

Q 機械設備工事について、防災設備工事や給排水などは含まれているのか。

A 今回の工事には防災設備や給排水設備の工事を含んでいる。

Q 電気工事や情報通信、昇降機などかどうか。

A 電気設備工事の入札は今回不調となり、昇降機は建築主体工事に含まれている。

6月定例会議決結果

■ 全員賛成で可決・承認・同意したもの

	番 号	提案者	件 名
専決	議案第 44号	市長	専決処分につき承認を求めることについて
	議案第 45号	市長	専決処分につき承認を求めることについて
人事	議案第46号	市長	甲賀市固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて
条例	議案第 47号	市長	甲賀市税条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第 48号	市長	甲賀市和太鼓音楽活動交流館条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第 61号	市長	甲賀市の議会議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について
補正予算	議案第 49号	市長	令和7年度甲賀市一般会計補正予算（第3号）
	議案第 50号	市長	令和7年度甲賀市水道事業会計補正予算（第1号）
	議案第 51号	市長	令和7年度甲賀市下水道事業会計補正予算（第1号）
	議案第 62号	市長	令和7年度甲賀市一般会計補正予算（第4号）
その他	議案第 52号	市長	土地改良事業計画の変更につき議決を求めることについて
	議案第 53号	市長	土地改良事業計画の変更につき議決を求めることについて
	議案第 54号	市長	土地改良事業計画の変更につき議決を求めることについて
	議案第 55号	市長	土地改良事業計画の変更につき議決を求めることについて
	議案第 56号	市長	土地改良事業計画の変更につき議決を求めることについて
	議案第 57号	市長	土地改良事業計画の変更につき議決を求めることについて
	議案第 58号	市長	土地改良事業計画の廃止につき議決を求めることについて
	議案第 59号	市長	市道路線の廃止につき議決を求めることについて
	議案第 60号	市長	市道路線の認定につき議決を求めることについて
	議案第 63号	市長	契約の締結につき議決を求めることについて
	議案第 64号	市長	契約の締結につき議決を求めることについて
条例	議決第 2号	議会改革推進特別委員長	甲賀市議会基本条例の一部を改正する条例の制定について
	議決第 3号	議会運営委員長	甲賀市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について
規則	議決第 4号	議会運営委員長	甲賀市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について
意見書	意見書案第7号	中島	中小企業・小規模事業者への支援を求める意見書の提出について
	意見書案第8号	堀	地方消費者行政に対する恒久的な財源確保を求める意見書の提出について
	意見書案第10号	木村	米国の関税措置に対応した中小企業等支援策の拡充を求める意見書の提出について
	意見書案第14号	橋本(恒)	えん罪被害者救済のため刑事訴訟法の再審規定の早期改正を求める意見書の提出について

賛否の分かれた議決結果

議案等の名称			会 派 名																							結 果	
	提案者	討論	凜風会										自由民主党誠翔会					公明党		日本共産党			無会派				
		反対	賛成	出口 雅之	西田 忠	瀬古 幾司	西村 慧	林田 久充	橋本 恒典	谷永 兼二	田中 新人	橋本 律子	北田 麗子	中島 裕介	奥村 則夫	小倉 剛	田中 喜克	戎脇 浩	木村 真雄	堀 郁子	西山 実	岡田 重美	山岡 光広	村木慶太郎	福井 進		糸目 仁樹
事前復興まちづくり計画の策定支援を求める意見書の提出について	木村 戎脇	堀	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
「トランプ関税」撤回を米国に要求することを求める意見書の提出について	岡田 西村	西山	●	●	●	●	欠	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	●	○	●	否
物価高騰の緊急対策として消費税5%への減税を求める意見書の提出について	西山 木村	山岡	●	●	●	●	欠	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	●	●	否	
コメの価格高騰を抑え安定供給を求める意見書の提出について	山岡 小倉	岡田	●	●	●	●	欠	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	●	○	●	否	

○・・・賛成、●・・・反対

※田中將之議員は、議長のため採決に加わらない

20人の議員が 市の考えを問う

第3回定例会の一般質問が6月13・16・17・18日の4日間にわたって行われ、20人が質問しました。質問と答弁を要約した内容を通告順に掲載します。

にしむら けい 西村 慧	1 健康経営の普及啓発について 2 地域の児童数に応じた放課後児童クラブの施設整備について 3 合併特例事業債発行期限後の施設等整備について
たなか よしかつ 田中 喜克	1 地域で創る「夢の学習」の活動状況や今後の展開について 2 水口市街地の歴史的整備事業、松並木整備事業等々の施設の現状と管理状況、今後の市街地活性化策は 3 大きく動き出した市の玄関口である貴生川駅での周辺整備事業 その概要と今後の動きは 4 合併から20年の節目を越え、住居表示・字の区域変更で甲賀市の都市的イメージアップを
きむら まさお 木村 眞雄	1 土砂災害特別警戒区域における防災・減災対策について 2 甲賀町の歴史観光ルートの整備について 3 物価高対策について
いとめ まさき 糸目 仁樹	1 地域情報基盤の民間移行及びあいコムこうかについて 2 コミュニティセンター指定管理について 3 有害鳥獣解体所設置を
ほり いくこ 堀 郁子	1 誰もが投票しやすい環境づくり 2 主権者教育 3 子どもを性被害から守る取り組み 4 学びの多様化学校 5 介護への支援
にしやま みのも 西山 実	1 大阪・関西万博への教育旅行について その3 2 有機フッ素化合物の検査について その3 3 酪農の危機への対策強化について 4 外国籍住人との生活コミュニケーションの促進について
なかじま ゆうすけ 中島 裕介	1 誰にでもやさしい行政周知について 2 鹿深夢の森遊具設置事業について(検証)
ふくい すずむ 福井 進	1 甲南第二小学校区等における放課後児童クラブの整備について 2 放課後等デイサービス施設の現状について 3 米不足等の中での、食料(給食等)の安定的な供給について 4 小中学校の修学旅行への支援について
やまおか みつひろ 山岡 光広	1 身寄りのない人への支援策 第2弾 2 「住宅確保要配慮者」と居住支援について 3 リチウムイオン電池の回収を市町村がすることについて 4 甲南第二小学校にも独立した学童保育所の設置を 5 ミソジニー 三重県議に対する殺害予告メールについて
おかだ しげみ 岡田 重美	1 物価高騰から市民の暮らしを守る対策を 2 全世帯に「防災リュック」(非常用持ち出し袋)の配布を 3 投票区域再編計画(案)について 4 コミパス・コミタクをもっと使いやすく 5 南土山地先における安定型産業廃棄物最終処分場建設計画について
にしだ まこと 西田 忠	1 シティプロモーションとシビックプライドの醸成について 松浦市の事例に学ぶ 2 甲賀産米の地元消費拡大について
おぐら つよし 小倉 剛	1 戦没者を慰霊する忠魂碑等の維持管理について 2 市発注工事の工事看板に金額揭示を
でぐち まさゆき 出口 雅之	1 大災害に対する防災・減災と事前準備について
おくむら のりお 奥村 則夫	1 オーガニックビレッジ宣言について 2 消防団の支援団員について 3 過疎化が進む地域への対応について
むらき けいたろう 村木 慶太郎	1 市内介護福祉事業に従事する民間事業者の現状について 2 忍者を核とした観光拠点施設整備基本計画の進捗について 3 図書館の今後の在り方について
えびすわき ひろし 戎脇 浩	1 甲賀市公民連携元年としての位置づけを 2 公民連携手法である長野地域エリアリノベーション事業を推進すべき
たなか あらと 田中 新人	1 持続可能な農業への取り組みについて 2 2025年問題に係る本市の現状と対策について 3 甲賀市の下水道管の老朽化対策等について
たになが けんじ 谷永 兼二	1 PTA、教育後援会等の現状と課題から見る教育予算について
はしもと りつこ 橋本 律子	1 地域移動支援活動の推進について 2 情報の共有さらなる充実を
はしもと ひさのり 橋本 恒典	1 甲賀市の水道について 2 甲賀市の公共交通について 3 高校生の通学路について

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。



公明党

木村 眞雄



土砂災害特別警戒区域の防災・減災対策

質問

①特別警戒区域729カ所についての認識は。②住居が当区域に隣接している箇所はどれほどあるか。③特別警戒区域に指定されて6年が経過、この間、どのような対策が取られたか。④定期的な現地の状況確認が必要と考えるが、実施状況はどうか。⑤今後の方向性や対策について

回答

①他市町に比べて指定が多い状況である。②レッドゾーン729カ所の内、631カ所である。③崖地の崩壊防止工事4件、崩壊防止施設への補助金交付2件、砂防堰堤2基完成。また、防災マップを作成し、全戸に配布。「逃げ遅れゼロ作戦」で土砂災害を想定した避難訓練の実施や避難確保計画の策定に取り組んでいる。④県と連携し、危険箇所のパトロールを年1回実施している。また、過去に災害があった箇所や地域の要望があった箇所は、適宜パトロールを行い、確認、把握をしている。⑤防災マップを活用した出前講座や防災訓練を通じて、災害リスクや警戒レベル、避難情報をしっかりと住民に伝える。また、住民と連携し、自助・共助の取組を推進する。



凜風会

西村 慧



健康経営の普及啓発について

質問

市としての健康経営についての認識は。

回答

健康保持等の戦略的な取組は、重要な投資であり、労働力不足が深刻化する中で必要であると認識している。

児童数に応じた放課後児童クラブの施設整備について

質問

①利用児童の増加が見込まれる地域は。②甲南第二学区内での早期の施設整備を。

回答

①水口、綾野地域及び甲南町寺庄区、野田区と認識している。②地元協議と施設整備を行った上で、小学校の最寄り公民館で令和9年度に開設を目指す。

合併特例事業債発行期限後の施設等整備について

質問

①発行見込額477億2,240万円の振り返りは。②今後の施設整備と財源確保の考えは。

回答

①旧町域間で整備状況等に差異が生じていたが、教育・保育施設等のハード面における環境改善を図ることができた。②水口スポーツの森屋内遊戯施設等があり、従来同様のペースでの整備は困難だが、企業版ふるさと納税の推進等に取り組む必要がある。



無所属

糸目 仁樹



あいコムこうか株式売却はなぜか

質問

市はあいコムこうかの筆頭株主で、株式を民間通信事業者に売却予定。情報基盤施設のあいコムこうかへの譲渡で、市の財政的負担は消え、財政負担は理由にならない。地域情報基盤あり方審議会の答申にもない。なぜそこまで踏み込むか。責任放棄ではないか。また1カ月で社長が2回交代した。なぜか。

回答

筆頭株主交代で、安定した経営ノウハウが得られる。社長交代は内部情報で控えるが、前副市長による社長就任は元社長辞任による機能停滞回避のため。

コミセン指定管理のあり方

質問

コミュニティセンターの自治振興会による指定管理は手上げ方式。住民との合意は必要ないか。

回答

自治振興会、まちづくり協議会の総会等での決定事項で住民の合意があると判断している。

有害鳥獣の解体所設置を

質問

有害鳥獣の捕獲者にとって、解体や埋設は負担が大きすぎる。解体所を設置し、捕獲後の買い取り等で捕獲者の負担軽減と有効利用はできないか。

回答

地域狩猟者団体の意向を確認しながら検討する。



自由民主党 誠翔会

田中 喜克



令和7年1月に示された「貴生川駅南口交流拠点基本計画」の概要は

質問

令和7年1月に示された「貴生川駅南口交流拠点基本計画」の概要は。

回答

整備する事業は、①貴生川駅北口ロータリー改修事業 ②駅構内自由通路改修事業 ③南口駐車場の立体化事業 ④南口まちなか広場整備事業 ⑤南口交流拠点整備施設整備 ⑥杣川歩行者専用橋整備事業 ⑦杣川河川敷公園整備事業の7事業を予定し、スケジュールは、今年度から始め令和11年度完成を目標とする。

「歴史街道・松並木整備事業」等々で整備された施設の現状と今後は

質問

市街地の歴史街道の各施設や沿道景観形成事業の各施設の現状と今後の管理・活性化策は。

回答

泉地先の常夜燈をはじめ、歴史街道等の施設は多くが整備から30年以上が経過しており、老朽化が進んでいる状況。地域の方々の奉仕作業に加え、市でのパトロールやシルバー人材センター委託等で管理保全を行っている。今後の活性化・活用は、計画の、東海道「くらし・にぎわい」再生事業の実施計画に位置付けて、管理保全・再整備、活用等、活性化に向けて事業を進める。



自由民主党誠翔会
なかじま ゆうすけ
中島 裕介



鹿深夢の森遊具設置事業について

質問 令和6年度鹿深夢の森遊具設置事業について、市長はどのような思いで事業化を考えたのか伺う。

回答 鹿深夢の森の屋外遊具は、本市が若者・子育て世代に選ばれるまちをめざすための重要な子育て支援施設の拠点であり、更新を望む声があったことから、幼児を対象とした遊具を設置し、安全に子どもと過ごせる遊びの場を提供できるよう当初予算に計上したが、工事入札が不調となり、不執行になったが、屋外遊具の整備について、実現をめざす思いは変わらず、改めて予算計上を検討する。

誰にでもやさしい行政周知について

質問 市民に伝わる「やさしい言葉」による情報の伝え方の今後の展望はどうかを伺う。

回答 市では全職員向けに「文書事務について」というマニュアルを作成し、従前から周知・運用しており、文体は誰にもわかりやすく、親しみやすく、読みやすい文章とするよう例文を交えながら適正文書作成事務を行っている。今後も市民に対し一方的に「伝える」のではなく、確実に「伝わる」ことを強く意識し、わかりやすく正確な情報提供に努める。



公明党
ほり いくこ
堀 郁子



誰もが投票しやすい環境作りと主権者教育、子どもや介護への支援

質問 投票しやすい環境作りはいかがか。大型商業施設の期日前投票はいいが、投票日にできないのは何が問題か。主権者教育の模擬授業の準備やメリットは。投票の推進や主権者教育を若者と共に進めてはどうか。

回答 バリアフリー、拡大鏡、点字器、代理投票のサポート、投票支援カード、コミュニケーションボード等実施。今後、移動期日前投票所、大型商業施設の期日前投票、投票日の共通投票所等を行う。投票日に大型商業施設で投票するには共通投票所であれば出来る。検討する。主権者教育は実際の投票用紙、記載台、投票箱を用いて模擬投票をしている。メリットは社会での自立、主体的な課題解決等がある。若者と共にできるよう市内高校での期日前投票所の開設等から始める。

質問 子どもを性被害から守るために「コドマモ」アプリを入れては。甲賀市の学びの多様化学校の状況は。介護のケアマネジャーの負担軽減を市で支援しては。

回答 学習用端末にはフィルタリングしている。教育支援センターを拡充・増設し、学びの多様化学校は研究する。ケアマネの負担軽減は対応を検討する。



無所属
ふくい すずむ
福井 進



はたらく保護者への子育て応援を

質問 ①甲南第二小学校の近くに児童クラブを早急に整備すること。②雲井・佐山・大野小学校の児童クラブと学校再編計画の関係について。③児童クラブに加配を配置して、障がいのある児童の受け入れを進めること。④甲賀・土山地域に放課後等デイサービス施設の整備を進めること。

回答 ①地元施設の活用等で、早期の整備に向けて取り組む。②中期的な視点で、施設の複合化や新たな施設整備の検討を進める。③受入れが一人でも多くできるように努める。④連携を強化し民設整備に対する支援に努める。

給食・修学旅行への子育ち応援を

質問 ①給食等の「量・質」の確保と給食費を維持すること。(①小中学校②私立こども園)②県内では多くの学校が行先等の変更をしている。今こそ、修学旅行に対して補助を再開すること。(以前は、全小学生2,500円、中学生5,000円の補助を実施)

回答 ①①質・量の確保と共に、補正も視野に費用は維持する。②現状を把握し公立と同様の対応に努める。②教育委員会を通して、学校とも十分に協議して対応を検討する。



日本共産党
にしやま ゐのる
西山 実



大阪・関西万博への教育旅行について

質問 大阪・関西万博の会場は、風水害リスクが高く、災害時に孤立する可能性が高い。6月以降5校が教育旅行を計画されているが、熱中症対策、台風時期の風雨対策、救護体制についての対策が必要ではないか。

回答 熱中症対策として、暑さ指数の予報等情報把握を行い、必要に応じて活動時間の短縮や活動内容の変更など臨機応変に対応して、子どもたちがまず安全に活動できるように努める。台風等の発生、影響が予測される場合は、前日までの情報を注視し、実施の判断をする。

外国籍住人との生活コミュニケーションの促進について

質問 甲賀市の外国人は4,741人と大津市・東近江市に次いで県内3番目に多い。①地域住民から市への相談や対応の実態は。②外国人の転入者に対する外国語のコミュニケーションツールが必要ではないか。

回答 ①「甲賀市多文化共生センター」における昨年度の相談件数は173件。②ごみの出し方や、けが、病気の対応方法、交通ルール、災害時の対応等を多言語により説明する「(仮称)生活ガイドブック」を現在作成しており、市民課窓口における転入手続き時に配布する。



凛風会
にしだ まこと
西田 忠



シティプロモーションとシビックプライドの醸成について ～松浦市の事例に学ぶ～

質問

会派視察で訪れた長崎県松浦市では『アジフライの聖地』を宣言し、全国的に知名度を上げる大成功を収めていた。シティプロモーション事業は「あれもこれも」から「あれかこれか」への転換が求められる。選択と集中の観点から、甲賀市と聞いて最も強く連想される“忍者”を軸にプロモーション事業を行うべきでは。

回答

本市は多様な資源に恵まれており、それぞれの独自性を最大限に活用・追求する戦略的プロモーションが有効であり、資源を一つに定めることは考えていない。

甲賀産米の地元消費拡大について

質問

米の価格高騰が続く中、市内でもコメ増産の動きが高まっている。昨今各地の自治体では“米クーポン”を配布するなど地元米を普及させる様々な企画を打っている。この機会をチャンスとしてとらえ、甲賀の安全で美味しい米を甲賀で消費する流れを自治体が後押しすべきでは。

回答

学校給食において地産地消の推進を図っている。直売所、道の駅等における地元産米のPRの実施など、関係機関と連携しながら更なる取組を検討する。



自由民主党誠翔会
おぐら つよし
小倉 剛



戦没者を慰霊する忠魂碑等の維持管理

質問

戦没者遺族会の会員の高齢化に伴って会員数が減少し、維持管理が困難になってきている。戦後80年が経過し戦争の記憶が薄れていく中、悲惨な戦争の惨禍や、戦陣に散り、戦禍に倒れた人々の思いを次世代に引き継いでいくためには、将来にわたり、これらの慰霊碑の適切な維持管理にもっと行政関与を。

回答

慰霊碑の管理状況の把握に努めるとともに、市としてどのような支援が適切であるのか、市遺族会の皆さま方のご意向を丁寧に確認させていただき検討を進める必要があると考える。

市発注工事の工事看板に金額揭示を

質問

市発注工事の工事看板に金額揭示を。

回答

公共工事における工事看板の揭示は、工事の安全性と効率性を確保するために不可欠な手段であり、適切な看板の揭示は、工事現場のイメージアップにもつながり、また、請負金額の揭示は、市税の活用状況など公共工事に関心を持っていただけるためにも、有効な取組になるものと考え「工事現場における標示施設等の設置基準」に基づき、庁内協議を経て、工事看板への金額揭示ができるよう前向きに取り組む。



日本共産党甲賀市議員団
やまおか みつひろ
山岡 光広



身寄りのない人への支援策

質問

警察庁が「2024年に自宅で死亡した一人暮らし人の約77%が65歳以上高齢者であった」と発表した。対策として、生前中に如何にして地域とのつながりをもつのが問われている。そのため老人クラブと連携してエンディングノートは無償配布する等の取組をしてはどうか。

回答

現在市内13カ所にエンディングノートを置いている。昨年度は413部普及した。議員提案にあった方法も有効な策であると認識している。

甲南第二小に独立した学童を

質問

甲南第二小学校の児童42名が3km離れた学童保育所に通所している。校区内に独立した学童保育所が必要。

回答

地元の公民館での借用について相談中。令和9年度から開設。

Xの投稿に誹謗中傷殺害予告メール

質問

「市役所トイレに生理用ナプキンを置いてほしい」とXに投稿した三重県県議に誹謗中傷・殺人予告メールが8,000件も。重大な犯罪行為である。

回答

いかなる理由であっても断じて許されるべきものではない。



日本共産党甲賀市議員団
おかだ しげみ
岡田 重美



物価高騰から市民の暮らしを守る対策を

質問

日本共産党甲賀市委員会が行ったアンケートでは「暮らしが苦しい」との回答が8割以上寄せられた。①消費税5%減税を国に求めるべき。②低所得者、中小事業者、医療・福祉施設等に、市独自の支援策を。

回答

①国において適切に対応すべき。②国の動向を注視し、必要な対策の検討に努める。

投票区域再編計画案(95を49に削減)について

質問

①5月のパブコメではどのような意見があったか。②党のアンケートでも4割が現状維持を望んでいる。再度検討すべき。

回答

①27件寄せられ、「投票所が遠くなると投票に行けない」「投票率低下は明らか」との意見が多かった。②再編を予定通り進めたい。

南土山地先産廃処分場建設計画について

質問

県外からのゴミが8割以上持ち込まれる計画であり住民の不安は大きい。県外からの持ち込みに対し規制する条例化の検討を。

回答

条例化は現時点では困難な状況だが、引き続き市民の声を事業者へ届け、県にも徹底した審査を求めていく。



無所属
むらき けいたろう
村木 慶太郎



市内介護福祉事業に従事する民間事業者の現状は

質問

①人材確保に向けた市の対策と成果について②公共資産の利活用について③訪問介護事業における駐車場問題への対応は

回答

①市独自研修や高校生への啓発を通じて介護人材の確保に取り組んでおり、成果があがってきている。②公共施設等管理計画との整合を図りながら、有効活用が可能となるような仕組みづくりを検討していく。③駐車場確保に苦勞されていることは承知している。まずは警察署の駐車許可制度を活用いただきたい。

忍者を核とした観光拠点施設整備基本計画の進捗

質問

平成31年3月に策定された計画について一次整備完了後、現状の進捗、今後の見通しは。

回答

整備区域等の見直しを進めている。今後、市内周遊に繋がる二次整備が必要であると位置付けている。

図書館の今後の在り方について

回答

甲賀市公共施設等総合管理計画に基づき、令和10年度までに全図書館のあり方を検討する。



凜風会
でぐち まさゆき
出口 雅之



大災害に対する防災・減災と事前準備について

質問

①上部構造評点を0.7以上にするために、どのような取組をするか。②甲賀市での無電柱化への考えは。③災害関連死を少しでも減らすため、福祉施設BCPなどの作成は適正になされているのか。④トイレカーの導入や保有の考えは。⑤「迫りくる大震災の対策」のためにもまた「選ばれる町」になるためにも防災・減災の拡充、増進、導入など、他市町以上に対策費用の予算をかけるべきでは。

回答

①木造住宅無料耐震診断・補強案作成事業を行い、「木造住宅耐震改修等事業費補助金」を交付。②無電柱化は「通行空間の安全性確保」において有効。しかし多額の費用と地中埋設を行う高度な施工技術が必要である。③BCP作成の有無の確認や避難訓練の開催を促している。④協定を結び、災害時にはレンタル資機材として提供される。⑤一般会計予算の約4%を堅持し、各種防災・減災対策を進める。本市としても国や県、関係機関とも連携しながら災害対策を強化。国土強靱化の予算を地方自治体への支援をいただくことが肝要。



自由民主党誠翔会
えびすわ き ひろし
戎脇 浩



甲賀市「公民連携元年」の位置づけを

質問

これからの大型の施設整備からソフト事業に至るまで、行政課題の解決に民間との連携は不可欠である。その手法を用いることで、税金の投入を削減し、また民間に利益をもたらすことが、持続可能な行政運営につながると考える。特に今年度は、貴生川駅周辺整備事業やスポーツの森の屋内遊戯施設整備事業などに対し、可能性調査費用やアドバイザーの招聘など、準備段階で多額の予算が計上されている。全市をあげて先入観なく、民間活力の導入に不退転の覚悟で臨まなければならない。今年度の取組にこそ、その成否がかかっていると言える。「甲賀市公民連携元年」と位置付けるような、本格的取組年度とすべきであると考えているが、どうか。

回答

税金を投入してまちを変えていくというやり方から、公共性を担保しながらも民間主導で経済合理的な自立、持続するやり方に変えることが目指す姿であり、市民サービスやエリア価値の向上につながる。全職員の意識改革を図り、公民連携手法導入の始まりの年として、公民連携元年として鋭意進める。



自由民主党誠翔会
おくむら のりお
奥村 則夫



オーガニックビレッジ宣言について

質問

①甲賀市有機農業実施計画の現状は。②お茶に特価した宣言から水稲や青果物へ広げていく考えは。③学校給食への活用をして、販路の確保や農家の参入者を増やす方策をすべきでは。

回答

①令和9年目標を達成し、現在生産面積18.2%、生産者20人。②水稲は有機こだわり米「きらみずき」を拡大し、実施計画への記載を検討し、青果物では、県の栽培基準が確立された時点で、実施計画への記載を検討。③給食利用では、環境こだわり米に加え、滋賀県推奨「きらみずき」も一部提供し、青果物等についても小ロットでも優先的に買い取れる仕組みを検討。

消防団の支援団員について

質問

①再入団までの期間は。②支援団員の活動実績は。③各方面隊、分団とのつながり、団員との連携体制構築は。

回答

①退団から平均で2年から3年、最長で8年の方。②令和4年度は延べ17名、令和5年度は8名、令和6年度は13名ですべて火災発生時。③分団により差異はあるものの、分団内での訓練に基本団員とともに参加され、地域での交友などで連携体制は図れているものと考えている。



凛風会
はしもと
橋本 律子



地域移動支援活動の推進を 交通のネットワークの構築が肝要

質問

①交通空白地有償運送の実態と課題を伺う。②ドアツードアの移動をする条件や施策は。③市内の例で自治振興会での協議検討からサポート受けられている例と内容は。④地域移動支援の市の捉え方は。⑤住民理解・公共交通とのマッチング等今後の方向は

回答

①「甲賀流公共ライドシェア」が本年2月より土山エリアで実証運行開始。国に申請し許可を受けている。②タクシーを含まない、乗降に何らかの支援が必要な方、何らかの支援を求められる80歳以上の高齢の孤立・独居の方々へ。運送の対価を受けない条件で自治体等が主体となり買い物・通院支援実施されている例もある。承認を受けた対応している。③持続可能な地域で、移動支援補助制度を受けておられる。④単なる交通問題でなく、地域共生の実現への取組と認識。地域の声を丁寧に聞き、一緒に答えを見つけていく役割分担が大切と考える。⑤すべての移動を公共で担うのは困難。公共交通・民間・自助・共助の合理的なネットワーク化が肝要。制度の狭間に対応できる支援体制づくりへの道筋を見いだしていきたい。

訂正とお詫び
82号17ページ 参加数→講座開催数 人→回



凛風会
たなか
田中 新人



持続可能な農業への取り組みについて

質問

①集落営農組織の現状及び経営改善策は。②基本法の改正を見据えた今後の農業施策は。③米不足と米価上昇に関する本市の状況・見解は。④米不足の原因は。⑤米の高騰による農家所得は。⑥備蓄米放出の決断は。

回答

①役員の高齢化や担い手不足が進み、経営改善策は、スマート農業の導入や農地の集積、集約による効率化を進め、中心となる人材育成と専従者を置き、農業従事者の確保と地域内外の連携強化が必要。②農業で生計を立てられる担い手育成や農業規模の拡大などにより、生産性の向上でコスト低減を図り、農業の収益力を高め農業者の所得向上に取り組む。③米の需給が厳しく、一部の店舗の米不足で、購入できない事態が発生し、備蓄米の流通により、値下がりが確認。④気候変動による不作、自然災害の影響、インバウンド需要の高まりで、これらの要因が複合的に影響した。⑤米価格の高騰により農家の収入増加の見通しはあるが、肥料、農薬や資材等の生産コスト上昇で難しい。⑥米の価格が安定し、消費者も生産者も納得価格が最善。



凛風会
はしもと
橋本 恒典



甲賀市の水道・公共交通・通学路について

質問

京都市や大阪市の水道事故から学ぶべき教訓は。

回答

通行量の多い道路で陥没が発生すると物流などにも大きな影響を与えることから、定期的な点検や計画的な改修を進める必要性を改めて認識した。

質問

市にとって望ましい公共交通ネットワークの姿についての市の考えは。

回答

貴生川駅を交通拠点としてJR草津線の運行本数を確保し、利便性を向上させるため近江鉄道や信楽高原鉄道、コミバス路線などの2次交通との接続、ライドシェアなどの新しい輸送サービスの導入などを進めるとともに、沿線地域や企業と連携した積極的な利用促進を実施していく。

質問

高校生の通学で寺庄駅のホームでの混雑や、水口駅から高校までの間、特に歩道のない幹線道路の徒歩通学の現状と対策について伺う。

回答

運行や駅構内を管理するJRと対策について協議しているが、混雑を解消する抜本的な改善には至っていない状況であり引き続きJR西日本と協議していく。また、徒歩通学の当該箇所については危険性を認識しており、安全対策としてグリーンベルトが設置されている。



凛風会
たになが
谷永 兼二



PTA・学校教育後援会の現状と課題から 見る教育予算について

質問

①市内小中学校の加入状況は。②PTAの課題・問題に対する市教委の認識は。③市内小中学校の教育後援会の設置状況は。④本来公費で負担しなければならないもので教育後援会等に頼っていないか。教育予算の考え方は。

回答

①一番高い加入率は、小・中学校ともに100パーセント。一番低い加入率は、小学校では99パーセント、中学校では29.5パーセント。小中学校各1校はPTA組織が無い。②全国的にも保護者の負担感の増大や改善の余地がある組織運営などを背景に、保護者のPTA離れが進み、組織そのものが消滅しつつある状況が見受けられる。当市においても一部の小中学校では、PTA組織が存在しないケースもあることは認識している。③小学校は21校中17校が設置。中学校は、6校中、6校とも設置されている。④各学校からの予算ヒアリングを基に、予算編成を行い、必要な経費について予算計上をしている。今後も引き続き、教育後援会をはじめとする皆様の支援に感謝しつつも、本来公費で負担すべきものについては、教育行政の責任においてしっかりと確保し、効率的かつ効果的に執行し、児童生徒の教育環境の充実に努める。

令和6年度 政務活動費報告

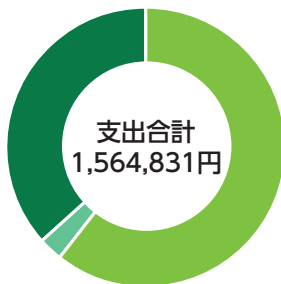
(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

議会の会派には調査研究等に資するため、必要な経費の一部として政務活動費が交付されています。甲賀市の政務活動費は、議員1人あたり月額2万円で、所属会派（無所属議員にあっては個人）に交付し、年度末にその用途を明確にして精算し、残金は返還しています。領収書の写し等はホームページで公開しています。

凜風会（9名）

交付額 2,020,000円
利息 93円

■調査旅費 949,247円
■資料作成費 44,112円
■広報費 571,472円



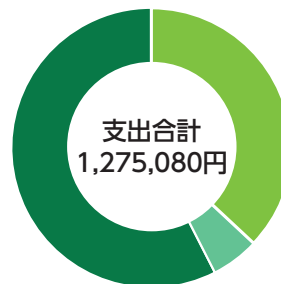
返還額 455,262円

※11月～1名増

自由民主党誠翔会（6名）

交付額 1,440,000円
利息 54円

■調査旅費 474,520円
■資料作成費 69,400円
■広報費 731,160円



返還額 164,974円

公明党（3名）

交付額 720,000円
利息 211円

■研究研修費 33,000円
■調査旅費 247,264円
■資料作成費 531円
■資料購入費 33,000円
■広報費 406,205円



返還額 211円

日本共産党甲賀市議員団（3名）

交付額 720,000円
利息 40円

■広報費 715,800円
■広聴費 4,200円



返還額 40円

会派に属さない議員 糸目仁樹（11月～）

交付額 100,000円
利息 22円

■調査旅費 69,790円
■資料作成費 30,210円



返還額 22円

会派に属さない議員 福井進

交付額 240,000円
利息 0円

■資料作成費 14,776円
■広報費 225,224円



返還額 0円

会派に属さない議員 村木慶太郎（11月～）

交付額 100,000円
利息 19円

■広報費 87,450円



返還額 12,569円



常任委員会

活動日誌

- 4月16日 調査報告 「甲賀市地域情報基盤の民間移行」に係る作業等について ICT推進ビジョン（案）のパブリックコメント実施結果、新しい地方経済・生活環境創生交付金デジタル実装型の採択、分野別計画の策定および条例制定など
- 5月14日 調査報告 甲賀市消防団の現状について 令和7年度甲賀市市政に関する意識調査の実施、合併特例債の活用実績（見込）について
- 6月20日 報告 第2次甲賀市多文化共生推進計画の見直しに係る策定方針、国・県の施策に対する要望内容、「わかもの会議」の運営について

所管事務調査

「甲賀市地域情報基盤の民間移行」に係る作業等について

甲賀市の重要な情報インフラである地域情報基盤施設と、関連する第三セクター（株式会社あいコムこうか）を含む、地域情報基盤全体について、「①市民の情報環境の向上、②株式会社あいコムこうかの発展、③本市の持続可能な運営」に向け、令和9年4月1日（予定）の民間移行が進められます。

視覚障がい者緊急通信端末機の廃止

平成26年度から運用・運営を行ってきたが、機器の故障も多いことや、メール・LINE等の普及も進んでいることから総合的判断で令和6年度をもってシステムを廃止しました。

甲賀市消防団の現状について

消防団員数が大きく定数を下回り、新規消防団員の入団が見込めない消防団組織の現状を調査しました。

現在の組織

● 総団員数：932名

（条例定数1,120人

（男性：923人 女性：9人

● 保有車両：ポンプ車27台、

小型ポンプ積載車83台

（計110台）



消防操法（ポンプ操法）訓練大会に向けた早朝訓練

報告事項

交付金の採択について

令和7年度新しい地方経済・生活環境創生交付金が採択されました。

① デジタル実装型：デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向けた事業への交付金 交付採択額 605万円

おもな事業

● A1による管路劣化診断および漏水調査業務

② 第2世代交付金：新たに地方公共団体が自由度の高い事業を行うことができる交付金 交付採択額 7872万5千円

おもな事業

● 道の駅あいの土山と茶生産振興対策事業

● 歴史文化を活用した観光ハイブリット事業

常任 厚生 文教 委員会

活動日誌

- 4月17日 調査 令和7年度国スポ開催準備について
こども家庭センターの設置状況について(現地視察)
甲南なかよし児童クラブの支援単位増設の状況について(現地視察)
- 5月14日 調査 学校部活動の現状について
甲賀市スポーツ振興の現状について
第2次甲賀市小中学校再編計画(基本計画)たたき台について
第4次健康こうか21計画に基づく健康づくりの取組について
- 6月13日 調査 第2次甲賀市小中学校再編計画(基本計画)策定に係る意見交換会の実施について
報告 学校再編に伴う保護者との意見交換会の結果について
社会教育施設の空調設備改修工事について



貴生川駅の国スポ・障スポのラッピング

所管事務調査

令和7年度国スポ開催準備

4月17日の委員会では、今年の秋に滋賀県で開催される第79回国民スポーツ大会の進捗状況について所管事務調査を行いました。

わたS H I G A 輝く国スポ・障スポ甲賀市実行委員会では総会や各専門委員会を行いながら開催準備を行っています。甲賀市では正式競技として軟式野球(成年男子)、ゴルフ(少年男子)、サッカー(少年男女)が行われます。国民スポーツ大会は9月28日から10月8日まで滋賀県で44年ぶりに開催されます。

第2次甲賀市小中学校再編計画

5月14日の委員会では再編計画(たたき台)について所管事務調査を行いました。以降、6月29日には信楽地域における意見交換会を実施、7月1日にも委員会を開催し出た意見をまとめ議長から市教育委員会へ報告、また7月15日には素案について所管事務調査を行いました。

現地視察

こども家庭センターの設置状況について

市では今年4月から市役所の2階に「こども家庭センター」を設置、家庭児童相談室を含め一体的な取り組みを行っています。委員会では4月17日にその組織と体制について現地視察しました。



市役所2階のこども家庭センター

甲南なかよし児童クラブ

甲南地域の3小学校の放課後児童クラブは3つのクラブに分かれており、5月14日の委員会ではそのルート等について現地(旧市民福祉活動センター)を含め確認しました。

報告事項

御成橋橋梁改修工事

5月14日の委員会では水口城跡御成橋橋梁改修工事の竣工について報告がありました。改修工事は令和6年度から行われており、今回の工事は橋梁の架け替えと御成門の塗り替えで工事費は1億670万円でした。なお、竣工式は6月14日に行われました。



完成した水口城跡御成橋

常任産業建設委員会

活動日誌

- 4月21日 調査 「道の駅あいの土山」新築工事の進捗について（現地視察）
報告 産地生産基盤パワーアップ事業について
- 5月22日 調査 「道の駅あいの土山」のリニューアルに向けた準備進捗について
報告 ネイチャーポジティブの推進について
- 6月19日 報告 高校生等通学定期乗車券購入費支援事業(案)について
「道の駅あいの土山」の竣工式及び内覧会について



現地視察

所管事務調査

「道の駅あいの土山」新築工事の進捗状況について(現地視察)

「道の駅あいの土山」新築工事の現地視察を行い、建築概要、工程および進捗率などを調査しました。建物内部は内装工事に取り掛かっており、概ね計画工程どおりに進んでいました。建物外部については、駐車場の台数や屋外トイレの仕様について調査を行いました。なお、工期は令和6年3月25日から令和7年7月14日まで。

「道の駅あいの土山」の

リニューアルに向けた準備進捗について

リニューアルに向け施設の組織体制について、また物販、レストラン運営の詳細など進捗状況を調査しました。

Q 組織体制が当初と変更されているが。

A 新たに株主である（一社）まちづくり協会代表理事を招聘し再編成した。今後も連携を計りながら運営に取り組む。

Q 経営企画、全体管理を担う(株)さとのゆめとの契約期間は。

A 契約は単年度更新であるが、オープン後も伴走型契約とし、商品のブラッシュアップや経営改善等で支援をいただく予定。また、リニューアル後もアンケートなどでお客様の声を運営に反映していく。

Q JA直売所とのすみ分け、競合の可能性について。

A 農協と連携し、民業圧迫にならないよう配慮し、道の駅独自の魅力づくりを進める。

報告事項

産地生産基盤

パワーアップ事業について

煎茶より高値販売が見込まれている抹茶、その原料となる碾茶せんちゃの生産を増やすことで産地販売額の増加につなげます。

ネイチャーポジティブの

推進について

生物多様性地域戦略の策定と並行してネイチャーポジティブの推進に向け、公民連携の取組を進める積水化学工業(株)滋賀水口工場とのパートナーシップ協定が締結されました。

※ネイチャーポジティブとは、自然生態系の損失を食い止め、回復させていくことを意味する言葉。

高校生等通学定期乗車券購入費支援事業(案)について

JR草津線の甲南駅から油日駅までのいずれかの駅を含んだ区間の通学定期乗車券を利用する市内在住の高校生等に対し、その購入費用の一部を支援することにより、JR草津線(特に、貴生川く栢植間)の利用促進を図ります。



「甲賀市まちづくり基本条例」や「甲賀市議会基本条例」の理念に基づき、「広報」及び「広聴」のあり方を定めた「広報広聴ビジョン」の素案がまとまったことから、5月27日に龍谷大学政策学部ただともけいしの只友景士教授を講師としてお招きし、「広報広聴の意義」、「広報広聴ビジョンの重要性」を全委員向

広報広聴委員会 全委員 研修

只友教授による講演

講演では、これからの地域社会の課題解決においては、「市民参加・協働のまちづくり」の仕組みづくりが必要不可欠であり、そのためには市民に対して市政に関する情報を的確に発信する「広報」と市民の皆さんの多様で複合化した声を聞く「広聴」の役割が重要であるとお話していただきました。

そして、それらの考え方を議会内で共有した上で、指針として取りまとめた「ビジョン」の策定は非常に効果的であるとお話がありました。



各グループでの素案の確認と質疑

只友教授の講演後に、3グループに分かれて「広報広聴ビジョン（素案）」の内容の確認や構成について委員間で確認作業を行いました。

その中で、「現状の広報広聴に関する解決すべき課題」や「ページの構成を見直すこと」など多くの建設的な意見が出されました。この機会を通じて、改めて議会全体で内容の共有が可能となり、より身近なビジョンにつなげることができました。

けにご講演いただきました。また、研修の後半はご講演いただいた内容をもとにして「広報広聴ビジョン」素案の中身について、グループごとに確認を行い精度向上に取り組みました。





厚生文教常任委員会 視察研修

令和7年5月15日

学校再編について

岐阜県関市

関市は岐阜県のほぼ中央にあり、清流長良川の中流に位置しています。また、「日本一の刃物のまち」としても有名です。関市ではこれまで2つの中学校を一つに、2つの小学校を一つに統合を図り再編を進めて来られ、「関市学校規模適正化審議会」の答申を受け「関市学校規模適正化計画(案)」を作成、パブリックコメントや説明会の実施など、その進め方について説明を受けました。

学校部活動の地域移行

岐阜県関市では学校再編とともに、学校部活動についても視察しました。国では学校部活動の地域展開を進めている中、関市では地域クラブによる地域移行を進めておられ、そのための新しい組織である「関市地域クラブ連絡協議会」を設立し、市教育委員会と共に子

どもたちのスポーツ・文化芸術活動が可能となるよう取り組まれています。

令和7年5月16日

スポーツ健康都市宣言について

静岡県三島市

三島市では令和7年3月に「スポーツ健康都市宣言」を都市宣言「くウエルビーイングを



実感できるまち」を制定され、スポーツを通じた笑顔と活力にあふれるまちづくりに努められています。

甲賀市でも国スポ・障スポ開催のレガシーとしてスポーツ都市宣言を含めスポーツの振興と健康づくりに力を入れる必要性を感じました。



議会改革度調査ランキング

早稲田大学デモクラシー創造研究所が「地域経営のための議会改革度調査2024」ランキングを公開し、甲賀市議会は1544議会中96位です。

2023年		2024年
全国総合		
114位	→	96位
滋賀県内総合		
4位	→	4位



議員表彰



左から、谷永議員、橋本議員

全国市議会議長会第101回定期総会において、甲賀市議会から2人が表彰されました。

在職15年 谷永 兼二 議員
橋本 恒典 議員

令和7年第3回臨時会 6月10日

甲賀広域行政組合議会は6月10日、臨時議会を開き、「新型コロナワクチン接種を拒否したこと起因して受けたハラスメント」に関する解決金として、当時甲賀消防警防課に勤務していた職員（退職）に150万円を支払う損害賠償額の決定及び和解の議案と補正予算を全会一致で可決しました。



新型コロナワクチン未接種に
起因するハラスメント事案

ワクチン未接種者への対応事案等

ハラスメント問題に対する経過

2021年(令和3年)

- 4月19日～26日 各所属宛てに「ワクチン接種予約確定連絡」
- 4月26日 職員Aがワクチン接種拒否
- 5月13日 「新型コロナウイルス感染症に伴うワクチン接種拒否者への業務区別について」通知を出す
- 8月31日 職員Aが退職

2022年(令和4年)

- 12月14日 要望対応委員会を開催

2023年(令和5年)

- 5月31日 毎日新聞ネットニュースで「ワクチン未接種(拒否者)廊下脇に」と報じられる
- 6月8日 議会議員全員協議会(報道を受けての説明及び質疑)
- 7月25日 第1回甲賀広域行政組合ワクチン未接種者への対応事案等ハラスメント調査委員会、以降10月12日、11月16日、12月4日、12月14日と委員会を五回開催
- 12月26日 調査委員会が調査報告書=中間答申をまとめる

2024年(令和6年)

- 1月22日 第6回調査委員会(今後のハラスメント事案への取組協議等)
- 議会議員全員協議会(中間答申に関する説明及び質疑)
- 1月29日～2月20日 調査委員会による申告者への聴き取り
- 3月3日～3月9日 調査委員会による行為者への聴き取り
- 3月13日 第7回調査委員会
- 3月15日 甲賀広域行政組合ワクチン未接種者への対応事案等ハラスメント調査委員会が最終答申
- 3月28日 懲戒処分発令:消防長(停職3ヶ月)、消防次長(停職6ヶ月)。ハラスメント行為者とされた残る29名は継続審議
- 4月16日 議会議員全員協議会(最終答申を受けた今後の組合の取組等)
- 6月4日 議会議員全員協議会(ハラスメント事案に対する取組)組合議会臨時会(ハラスメント研修業務委託等)
- 7月8日 議会議員全員協議会(懲戒審査委員会の結果報告等)処分発令
- 12月25日 賠償金を求める通知が届く

2025年(令和7年)

- 1月16日 組合議会臨時会(職員定数条例の一部改正)
- 6月10日 組合議会臨時会(損害賠償の額の決定及び和解)
- 6月13日 示談成立

損害賠償額150万円で和解 全会一致で可決

本会議に先立つ議会全員協議会では、①損害賠償額を求める通知が届いたとの説明であったが、それは訴訟ではなく通知だったのか。②それはいつか。③要求額とその根拠は。④解決金150万円の積算は。⑤確認書は交わしたのか、などについて質問がありました。事務局長からは①訴訟ではなく通知、②令和6年12月25日付け、③253万84円、逸失利益6か月分、④双方代理人弁護士との協議、⑤今後示談書を交わす、という説明でした。甲賀広域行政組合では、今回の損害賠償にかかる事案ではワクチン未接種者への対応について「自己決定権を脅かし、精神的苦痛を与えるものであり、不当な対応であった」と反省し、再発防止策に取り組みとしています。

(上の写真は、本会議後、記者団のインタビューに応じる甲賀広域行政組合消防本部消防長)

①～⑤は質疑 ①～⑤は答弁

道の駅あいの土山リニューアルオープン 8月1日



議会として

- 産業建設常任委員会で10回以上におよぶ所管事務調査
- 令和4年9月定例会において委員会代表質問
- 先進地道の駅への委員会視察
- 道の駅あいの土山の現地視察



甲賀市議会議員一般選挙の立候補予定者説明会が開催されます

①日時：令和7年8月23日(土) 13時30分～

②場所：碧水ホール

訃報



林田久充議員が去る7月1日にご逝去されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

【林田議員略歴】

- 平成25年初当選～3期
- 第11代・第12代議長
- 議会運営委員長
- 議会改革推進特別委員長

名神名阪連絡道路整備促進

甲賀市議会議員連盟総会開催！

甲賀市議会では平成27年に名神名阪連絡道路の実現に向け同議員連盟を発足、全議員の参加により要望活動等を行っています。

4月15日には来賓として期成同盟会の会長でもある岩永市長、整備区間を実現する会の豊田会長及び役員各位を迎え通常総会を開催しました。総会では役員改選を行い、会長に橋本恒典議員、副会長に戎脇浩議員、事務局長に岡田重美議員を選任しました。前会長の田中將之議長は顧問となります。



利川市訪問



姉妹都市である韓国利川市イチョンからの招待を受け、令和7年4月、第39回利川陶磁器まつりの公式行事に訪問団の一員として、議長が参加しました。

交流都市レセプションや市庁舎訪問、文化施設の視察等を通じて、信楽と利川、両地域の文化と産業をつなぐ絆の大切



さを改めて確認しました。議会として、これからも市民間の交流の礎となる国際友好を大切にし、地域の魅力や可能性を広げる役割を果たしていきます。

ミシガン州友好親善使節団 甲賀市議会来訪

姉妹都市であるミシガン州から使節団が7月14日(月)に来訪され、正副議長と意見交換を行いました。甲賀市としては、デウィット市2名、マーシャル市4名、トラバースシティ市2名の計8名の団員の方々の受け入れを行いました。



令和6年度視察受け入れ一覧

団体名	視察項目
山口県 防府市議会	ロケーション推進事業について
兵庫県 加東市議会	議会改革について
静岡県 牧之原市議会	市の特産品であるお茶の取組について
静岡県 富士宮市議会	こうかおむつ便について
東京都 足立区議会	フリースクール利用児童生徒支援補助金について
愛知県 西尾市議会	信楽高原鐵道に対する取組について
神奈川県 藤沢市議会	人とペットの共生に向けて「こうが人福祉・動物福祉協議会議」の取組について
千葉県 野田市議会	みなくち子どもの森の取組について
山口県 下関市議会	地域猫活動の取組、多頭飼育崩壊対策について
東京都 日野市議会	甲賀市子ども議会について
埼玉県 秩父市議会	甲賀の豊かな森林づくり構想について
愛知県 東浦町議会	議会改革の取組について
長野県 佐久市議会	議会運営・議会改革について
福岡県 みやま市議会	こうかおむつ便について
岐阜県 中津川市議会	奨学金返還支援事業について

一問一答

Q.甲賀の夏といえば？



村木 慶太郎

無所属

「矢川神社七夕まつり」、「しがらき火まつり」や「甲賀流にんにん大花火」を順番に楽しむ。



出口 雅之

凜風会

毎年8月16日開催の「仙川夏まつり」の花火大会、灯籠流し、護摩供養、屋台。



奥村 則夫

自由民主党誠翔会

黒滝遊漁場で、親子・友人で魚のかみ取りをして、その場で魚を焼いて食べることです。



田中 喜克

自由民主党誠翔会

8月16日、恒例の「仙川灯籠流し・世界平和祈願採燈大護摩供養・花火大会」が開催されます。



福井 進

無所属

「矢川七夕まつり・仙川夏まつり・峯之堂盆踊り」。これが私の三大夏祭り。皆様もそれぞれの夏を！



西田 忠

凜風会

地元春日での打ち上げ花火。毎年、お盆に集まった家族やご近所さんと軒先から楽しめます。



小倉 剛

自由民主党誠翔会

市内各地で行われる夏まつり、そして自然豊かな甲賀でのレジャー。



戎脇 浩

自由民主党誠翔会

江戸期の大火を機に、旧町別52か所で祀られる「愛宕さん」。7月23日に一斉に祭礼が行われます。



西山 実

日本共産党

仙川夏まつりがおすすめです。灯籠流し、護摩焚き法要、身近にみられる花火が魅力です。



瀬古 幾司

凜風会

高間みずべ公園は、水すべり台で川遊びする子ども達やバーベキューをする家族などが楽しめます。



西村 慧

凜風会

江州音頭で盆踊り。甲南町寺庄の「六角ふれあい夏祭り」では六角堂を中心に皆が繋がります。



谷永 兼二

凜風会

涼やかな風が届く夕刻、厳かに燃え盛る松明に祈りを込め奉納が始まる「しがらき火まつり」。



木村 眞雄

公明党

野洲川河川敷での「甲賀流にんにん大花火」尺玉の大迫力花火など、約3,000発が夜空に輝きます。



糸目 仁樹

無所属

甲賀の夏は祭りが多く、俳句材料が増えて嬉しいです。



橋本 恒典

凜風会

甲賀の夏の伝統行事7月の大原祇園や夏の終わりの風物詩「和太鼓サウンド夢の森」が有名です。



田中 新人

凜風会

約3,000発の花火が甲賀の夏を彩る。甲賀流にんにん大花火大会7月26日(土)野洲川河川敷。



北田 麗子

自由民主党誠翔会

「水出し煎茶」です。ぜひ甲賀のお茶で暑い夏を爽やかに乗り切っていたきたいです。



岡田 重美

日本共産党

田村神社の万灯祭。境内いっぱいの提灯の灯はとっても優しくかつ幻想的です。



山岡 光広

日本共産党

地元矢川神社の七夕まつりですね。年を追うごとに盛大に。祭りを彩る「甲賀の手筒花火」は一見の価値あり。



橋本 律子

凜風会

満天の星空。笹飾り手にゆかた姿の笑顔の子ども達。見事な手筒花火の宴。心繋がる広場です！七夕祭り。



中島 裕介

自由民主党誠翔会

『大原祇園は勇ましや』梅雨の終わりを告げ、夏の始まりでもある喧嘩祭り。



堀 郁子

公明党

高間みずべ公園で子どもと一緒に水遊びとバーベキュー、楽しかったです。



田中 将之

公明党

炎が舞い、太鼓が響く信楽の夜。火まつりが甲賀の夏の象徴です。

9月定例会の予定

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
8/17	18	19	20	21	22 本会議 (第1日)	23
24	25	26	27	28	29	30
31	9/1 本会議 (第2日)	2 本会議 (第3日) 一般質問	3 本会議 (第4日) 一般質問	4 本会議 (第5日) 一般質問	5 本会議 (第6日) 一般質問	6
7	8 委員会	9 委員会	10 委員会	11 委員会	12 委員会	13
14	15	16 委員会	17 委員会	18 委員会	19	20
21	22	23	24 本会議 (第7日)	25	26	27

※午前9時30分から開会します。

編集後記

▶水口城跡御成橋の改修が終わり、毎日部活動で前を通る水口高校の皆さんが表紙を飾ってくれました。さて、昨年に続き今年も米不足が問題になり、かつてなく新米に注目が集まっています。何でもそうですが、無くなって初めてありがたみがわかりますね。ピークの昭和37年には、日本人一人当たり年間118.3kgの米を食べていましたが、令和4年は50.9kgまで減少しています。日本人が米を食べなくなって来たことが、米の生産量を減らして来ました。日本文化の基礎になるお米をもっとしっかり食べて、お米を守っていききたいものです。

(広報部会員 糸目仁樹)

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



甲賀市議会だより 2025.08.01 vol.83

編集■広報広聴委員会 発行■甲賀市議会

〒528-8502 滋賀県甲賀市水口町水口6053番地

TEL.0748(69)2258 FAX.0748(63)4373

ホームページ <https://www.city.koka.lg.jp/council/>

E-mail:koka05101000@city.koka.lg.jp